

私たちは、命のつながりに思いを馳せる暮らしを提案し、心豊かな生き方のお手伝いをします。

創業 明治 44 年

命のつながりを想う

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
〒990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
http://oshironomise.com
2021年 第37号

あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をすま方言。米沢の方では住職様、僧侶をすまそうです。宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。



長門屋

お城の店が目印です。

「お仏壇の修復・リメイクサービス」開始から おかげさまで 2 周年！



店舗の裏手にある工房で、仏壇職人の斎藤が出迎えます。



自分の家のお仏壇のことを直接相談していただけます。



2周年記念で作成した「お仏壇のリメイク 6つの事例集」。店舗にて好評配布中です。送付も可能です。お問い合わせください。

八月のお盆に合わせて、「お仏壇の修復・リメイクサービス」2周年企画として、これまでリメイクしたお仏壇のビフォー・アフターを掲載した「事例集」の配布をスタート。合わせて、九月の土曜日には二回にわたり、店舗の裏にあるお仏壇の修復・リメイク工房での「見学会」を開催しました。

この企画のことを、山形新聞さんと河北新報さんが記事に、FM山形さんがラジオ取材をしてくださったこともあり、お陰様で多くのお問い合わせやご相談をお受けしております。

河北新報さんの記事を読み、仙台市の女性の方が電話をくださいました。

「今ね、新聞を開いたらこの記事が目にとまって、もうじつと見入っちゃったの。そしてこれはもうお電話しなくては、と思ってかけたのよ。受け継いだ大きなお仏壇を、小さなサイズにできるなんて、考えたこともなかった。あなたのところ、なんていいお仕事してるのかと思って

私のあとは、娘に受け継いでもらうことになってるの。私は、親がどんな思いで求めたかも、お参りしてきたかも、みんな知ってるでしょう。だからお仏壇が大きいからといって、簡単に買い替える決心がつかなくて。大きさがね、これからの人の家に合うようになれば、大事にしていけるのよ。」といううれしいお問合せでした。

実際に工房見学にいらした方からは、「職人から直接話しが聞けてよかった。」「作業の大変さと技術の伝承の重要性を感じる事ができた」「具体的なイメージがわいた。」などの感想をいただき、実際に現場を見ていただくことで伝わることの大きさを感じています。

「お仏壇の今後のことは息子に任せようと思っていたけれど、そうでなくて今の代の自分の仕事なのだと思い直した。」と話されてリメイクを依頼してくださった方も。

工房見学は今後も随時受け付けております。ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

(笹林陽子)

仏壇 修復物語

天童市〇様（七十代女性）の巻



〇様のお仏壇修復の決断のきっかけは、旦那様の一周忌法要をきれいになったお仏壇で迎えたいというお気持ちでした。

十数代続くお家柄の〇様は、初対面の私たちにも、旦那様のお人柄やご自身のお仕事のこと、人生観などをざっくばらんにお話ししてくださり、終始にわたり、言葉の端々に旦那様への感謝の言葉がありました。

私も結婚していますが、はたして自分が亡くなった後、妻が私のことを〇様のように誰かに話すだろうかと思うと、改めて〇様の旦那様への深い思いを感じます。

さらに〇様は、これからもちろんと家を守っていくかねばという思いで、

この度、お仏壇をきれいしたいのとこのことでした。私たちも、そのお気持ちに応えたいと思い、修復作業をさせていただきますました。

金色に輝くお仏壇は、極楽浄土の世界を表したものとされています。

修復の結果、輝きを取り戻したお仏壇は、再び極楽浄土の世界を表すことができたと思います。また、仏具についても、人手や労力がかかるお磨き作業をしなくてもいいように、フッ素加工をさせていただきました。

最後に、〇様から

「ピカピカのお仏壇の前で私の心もきれいになったように思います。」

そして、これからもきれいでいたいと思っております。」との決心の言葉をいただきました。

私たちもそれを最上の贈り言葉として受け取り、しっかりと心に刻んでおります。

（後藤久嗣）



（上）修復後の納品した様子。
約100年の時を刻んだお仏壇です。

山大学生 インターンシップで職業体験

「中小企業の魅力と働くとはなにか」

九月九日から十一日までの三日間、山形大学人文社会学部一年生の大賀樺音（おおがかのん）さんが、低学年インターンシップの研修生として来てくれました。昨年はコロナの影響で研修がなく、一年振りの受入れということで私たちも楽しみにしていました。受入れも七年目となり、スケジュールをスタッフ皆で工夫して組んだことで、多様な体験をしてもらうことができました。

1日目：彫刻職人田中さんの工房見学とインタビュー
田中さんから記念に、その場で作った鳥の彫り物をいただきました。

2日目：お仏壇納品へ同行
納品時、お客様からの感謝の言葉をいただきました。

3日目：金箔職人西山さんの工房見学と体験
職人さんの金箔を扱う技術に感嘆、箔押し体験で感動。

大賀さんの今回の目標は「働く上で大切にしていること、やりがい、働く上で求められる力」について社員へインタビューすることでした。

私達社員一同改めて考えさせられる内容で、自社の仕事について、どう若い人たちに伝え、興味をもってもらえるのか、また働いている私達もこの仕事の魅力は何なのかを発信していくことが事業の継続につながると思います。コロナは続くかと思いますが、来年も学生さんを受け入れるのが楽しみです。

（国島潤一）



↓（彫刻職人工房を見学）
あっという間に鳥の彫り物を作ってもらいました。



↓（金箔職人工房を見学）
緊張の金箔押し体験。



↓最終日の終礼で、体験報告をしてもらいました。